

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称	区民ひろば推進本部会議
事務局（担当課）	地域区民ひろば課
開 催 日 時	令和5年3月17日（火）      15時00分～16時00分
開 催 場 所	本庁舎8F レクチャールーム
議 題	1 地域区民ひろば推進本部 部会報告について （高齢者・子育て・CSW・SC・災害対策）  2 地域区民ひろば課報告案件 ① 区民ひろば地域共生カフェ事業について ② 区民ひろば自主運営の進捗について ③ 令和4年度以降施設改修・大規模改修スケジュールについて
公開の 可否	会 議
	<input type="checkbox"/> 公開 <input checked="" type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開      傍聴人数      人
	非公開・一部非公開の場合は、その理由 行政機関における政策意思決定過程途上に位置付けられる会議であるため
	会 議 録
<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開	非公開・一部非公開の場合は、その理由

出席者	本部長	副区長
	副本部長 本部員 幹事	区民部長 保健福祉部長 子ども家庭部長 区民部 区民活動推進課長 区民部 地域区民ひろば課長 文化商工部 学習・スポーツ課長 保健福祉部 福祉総務課長 保健福祉部 高齢者福祉課長 子ども家庭部 子ども若者課長 子ども家庭部 子育て支援課長 子ども家庭部 子ども家庭支援センター所長 子ども家庭部 保育課長 教育委員会事務局 教育部 放課後対策課長 教育委員会事務局 教育部 教育施策推進担当課長 豊島区民社会福祉協議会 地域相談支援課長
	事務局	地域区民ひろば課

## 本部長あいさつ

齋藤副区長より

年度代わりの忙しい時間にありがとうございます。コロナ禍もやっと出口が見えてきた。本日は5つの部会から報告を頂く。区民ひろばは平成15年にスタートして約20年経つ。推進よりも成熟を迎える時期になった。課題も沢山あるかもしれないが、行政の縦割りの仕事を区民にサービスを伝える場としても区民ひろばは大切。横に共有しながら、区民ひろばの活用をより検討していきたい。

## 案件1 地域区民ひろば推進本部部会報告について

### ① 高齢者部会について

高齢者福祉課長より

<要旨>①フレイル測定機器の継続的な活用の促進②区民ひろばへのアウトリーチ事業の拡大③関係機関（高齢者の生活支援推進員（第二層生活支援コーディネーター）・CSW等との連携、3点の課題を設定。資料に沿って説明。

### ② 子育て部会について

子ども家庭支援センター所長より

<要旨>子育て事業の充実という課題に対し、子ども若者課・子育て支援課・子ども家庭支援センター・保育課・放課後対策課の事業を資料に沿って説明。

### ③ CSW 部会について

福祉総務課長より

<要旨>CSW 事業は地域の中で支援が必要な人に手を差し伸べ、住み慣れた地域の中でその人らしい暮らしができるような先進的な支えあいの仕組みを作った。H21年度から中央圏域一か所からスタートし、H27年から8圏域に分かれている。CSW への相談は、令和元年度 8667 件・令和2年度 10451 件・令和3年度 11753 件とコロナ前の1.36倍に増え、CSW の存在感が増し必要とされている。課題としては区民ひろばとCSW の連携強化について資料に沿って説明。

### ④ SC 部会について

教育施策推進担当課長より

<要旨>区民ひろばでのSP（セーフティプロモーション）の充実を課題に設定。資料に沿って説明。子ども子育て世代から高齢者まで多世代が集う区民ひろば、セーフコミュニティの推進・セーフティプロモーション重点拠点と認識しているの安全安心はSDGS ともつながる概念である。今後も連携を深めセーフコミュニティーを推進していきたい。

## ⑤ 災害対策部会

子ども若者課長より

<要旨>区民ひろばにおける災害対策の推進について課題を設定。令和4年度は2地区の区民ひろばにおいて補助救援センター開設運営訓練を実施した。資料に沿って説明。

### 案件2 地域区民ひろば課報告案件について

地域区民ひろば課長より

部会報告ありがとうございました。3年ぶりの推進本部会議の開催である。PDCAサイクルを意識して部会運営をするようになったのは4年前からである。今回、部会で話し合うことで共通認識ができたのではないかと。まずは課題の設定をし、計画・実行し、更に課題を認識することで現場感覚も認識できたのではないかと。サークル、区民ひろば独自事業、地域区民ひろば課主催事業・所管課の事業など様々な事業がある。所管課の事業はなかなか認識されないことがあったが、こういった繰り返しによって理解が進むのではと思う。

#### ① 区民ひろば地域共生カフェについて

<要旨>高齢者のデジタルデバインド解消とQOLの向上に向けて、スマホ教室等を開催する地域共生カフェの設置、デジタル活用講座を開催し、高齢者のICT技術活用支援を行う。

#### ② 区民ひろばの自主運営の進捗について

<要旨>令和2年度に1地区、令和3年度に2地区の区民ひろばが自主運営モデル実施をスタートし、本格実施に至っている。令和4年度は11地区が直営区民ひろば、11地区がNPO法人による運営となっている。

さらに、NPO法人に対する支援として、すべてのNPO法人にヒアリングを実施。自主運営上の課題の把握、分析、共通の課題に対する支援を開始した。

令和5年度は、地域の拠点としての機能強化を行うと共に、NPO法人に対する支援は専門家やNPO法人の意見を聞きながら、自主運営の全体的なスキームの見直し検討や個別の課題に対する支援を行う。令和6年度の自主運営モデル実施開始を目指し、椎名町運営協議会のNPO法人設立、自主運営化支援を行う。

#### ③ 令和4年度以降の施設改修・大規模改修について

<要旨>大規模改修施設が6施設、移転・リース改築施設が5施設と今後11地区の区民ひろばで施設改修を実施していく。

#### ④ 区民ひろば区制90周年記念事業&SDGs事業報告

<要旨>①だれでも気軽に参加できるスポーツ「モルック」導入。②楽しくアクション!「出張よしもとSDGs劇場」③各区民ひろばが提案する90周年記念

事業④90周年部会からの提案事業⑤区民ひろばSDGsミュージックフェスティバルについて実績報告と説明。SDGS宣言大会では各区民ひろばがそれぞれSDGs宣言をし、2030年までに達成したい目標を掲げた。

### 質疑応答・意見など

保健福祉部長

ここ数年はコロナ禍でひろばスタッフも気を使って感染対策をしていたのではないかと。

新しい利用者層の開拓は広まってきているのではと感じた。ひろばカフェは最たるもので区民ひろばに来ていなかった人も利用するのではないかと思う。

去年は横浜の高齢者施設がロックバンドを聞く事業で60代の新しい層を獲得したという成功例を聞いた。新しいものをどんどん生み出し一緒にやっていきたいと思う。

区民部長

報告ありがとうございました。コロナ禍にもかかわらず課の垣根を積極的に超えて活動していた。多くの課が多くの事業をやっているということが分かった。高齢者部会の説明の中で区民ひろばとの独自事業の調整が課題とあった。

区民からすれば関係ないかもしれないが、ただ場所を貸すだけではなく、スタッフや運営協議会など整理は必要と思う。地域活動・地域コミュニティの拠点として多くの区民の人が活動している。より区民に身近な施設になってほしい。コロナ感染症については、5類に引き下げられるのでより多くの事業が実施できるのではと期待している

<終了>

提出された資料等

- ・令和4年度 各部会取り組みについて  
(災害対策・高齢者・子育て・CSW・SC)
- ・区民ひろば地域共生カフェ事業について
- ・区民ひろば自主運営の進捗について
- ・令和4年度以降施設改修・大規模改修スケジュールについて
- ・令和4年度 区民ひろば90周年事業・SDGs事業報告
- ・令和4年度 地域区民ひろば推進本部 委員構成
- ・令和4年度 地域区民ひろば推進本部 部会構成